

No.	1230-010	事務事業名	学校環境検査事業				所属部	教育部			
							所属課	保健体育課			
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆			
	施策名	0 1	学校教育の充実				所属G(係)	給食保健体育G			
	基本事業名	0 3	体育保健指導の充実				電話番号	42-1111			
予算科目	会計	一般	1 0	0 7	0 4	事業	164015	事業名	学校保健事業	法令根拠	学校保健安全法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
各小・中学校・幼稚園等施設のより良い環境のもとで教育を受けることができるように、水質検査・冷水器レジオネラ菌・室内空気等環境検査(ダニアレルギー・ホルムアルデヒド・トルエン)を学校薬剤師の指導のもと実施する。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <input checked="" type="checkbox"/> (S 33 年度 ~) <input type="checkbox"/> (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業概要と同じ		名称	単位
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年に加え、大田幼稚園を実施対象とする。		ア 環境調査を行う学校数	校
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 幼稚園・小・中学校の教室・プール等		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童・生徒が安全で快適に利用できる施設にする。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 児童生徒の健康の保持増進を図ることができる。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 検査実施箇所数	箇所
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 要再検査箇所数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,067	3,059	3,224	3,311		
事業費計(A)		千円	3,067	3,059	3,224	3,311			
活動指標		ア 校	47	47	53	54			
対象指標		ア 箇所	301	301	318	322			
成果指標		ア 件	4	2	0	0			
上位成果指標		ア %	5	4	4	4			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 園児・児童・生徒の通う施設の環境整備を行う為。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	学校環境検査事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 児童・生徒が安全で快適に学校生活を送る環境を提供することによって、健康な体づくり及び学校教育の充実につながっている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 学校保健安全法に基づき学校環境整備を図る義務が市にはあり、この事業を実施することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 現在、法的に実施すべきものはもちろん、今日の環境問題で課題となっているものも含めて実施している。ただし、今後新たな環境問題等が起これば、新たな対象の追加・意図の拡充が見込まれる。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 環境衛生検査を実施するにあたり、要再検査箇所が発生しないように努めることが当然であり、日常からの環境整備により現在の水準を向上させることができ、成果の向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 学校教育を実施する中で、適切な環境検査を実施しないことは、児童生徒の健康被害及び健康な体づくりに障害を生ずる可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 学校保健安全法に基づく事業である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 現在の仕様は必要最低限での実施であり、よりよく十分に事業を実施するためには事業費も不足の状態である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 学校保健法に基づき学校薬剤師により専門的な事業の実施が義務付けられている。現在の制度では、他の実施方法によることはできず、人件費の削減の余地は見込まれない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 学校環境衛生の整備(教室の空気環境、プール水質検査、水道水質検査等)は、市内全学校を適切な環境水準に整備することであり、全児童生徒へ公平・公正な受益となっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	日常からの環境衛生への積極的な取り組み、知識の習得を行う必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 本事業は、要再検査箇所が発生しないように日常から衛生環境整備に努めることが当然であるため、各学校への指導の充実を図ることで、現在の水準を向上させることができ、今後の成果の向上が期待できる。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 日常からの適切な環境衛生の整備は、学校薬剤師の専門的な知識が必要であり、その指導・助言に沿ったものを適切に実施できるよう、学校、薬剤師、市の連携を強化することがその解決策につながる。																						

No.	1230-030	事務事業名	学校給食センター運営事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	01	学校教育の充実				所属G(係)	給食保健体育G
	基本事業名	03	体育保健指導の充実				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 学校給食法	
	一般	10	07	05	165015	給食センター管理事業		
	一般	10	07	05	165090	学校給食費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
学校給食センターは、隼人・溝辺・横川・牧園・霧島・福山の6センターで市内の小中学校、幼稚園に対して提供する給食を調理し供給している。その他の活動は下記のとおり。 地域と連携し、食育を推進するため地元産の食材を購入、使用する取り組み。 小中学校からの要請を受けて栄養教諭を派遣して実施する「食に関する指導」献立表と給食だよりを一枚で更正し、月2回に分けて発行(年11回) センター調理員を対象に調理の基本や衛生管理などの研修。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 42 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業概要と同様		ア	給食の提供数
			食
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	地場産食材の購入量
前年度と同様			トン
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ウ	食に関する指導の実施回数
国分地区を除く、市内の小中学校の児童・生徒、市立幼稚園の園児			回
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の維持・増進を図ることができる。また、偏食をなくし、正しい食習慣を身に付けるとともに、食糧の生産から消費に関する正しい理解の推進を図ることができる。		名称	
		単位	
		ア	国分以外の児童・生徒・園児
			人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
健康な体が育つ		名称	
		単位	
		ア	食習慣に問題のある子供の数
			人
		イ	残食の料
			トン
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	183,670	179,746	178,162	175,066	
	事業費計(A)	千円	183,670	179,746	178,162	175,066		
活動指標		ア 食		6,727	6,929	6,873		
		イ トン	86	90	43	47		
		ウ 回	48	64	130	137		
対象指標		ア 人	6,663	6,572	6,443	6,327		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 人	171	185	266	270		
		イ トン	65	70	75	63		
		ウ						
上位成果指標		ア %	5	4	4	4		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
学校給食法が制定されたことを受け、学校給食センターを設立し、それと同時に本事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
偏食する子が増えている。衛生面でドライ方式が推奨されている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	学校給食センター運営事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後、センターの統廃合等を考えていくことが必要となる。																					
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		< 改革改善案 > 今後各センターの配食のバランス等を考えていかなければならない。																						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	1230-080	事務事業名	国分地区小中学校単独調理場運営事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	01	学校教育の充実				所属G(係)	給食保健体育
	基本事業名	03	体育保健指導の充実				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 学校給食法	
	一般	10	07	05	165020	単独調理場管理事業		
	一般	10	07	05	165090	学校給食費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
学校給食法に基づき心身の健全な発達と食生活の改善に寄与することを目的として、国分管内の霧島市立幼稚園・小学校・中学校に対して給食を供給している。その他に以下の活動を行っている。地域と連携し、食育を推進するため地元産の食材を購入、使用する取組 栄養教諭による「食に関する指導」の実施 献立カレンダーや給食だより等の発行 調理員を対象とした調理の基本や衛生管理などについての研修		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 38 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業概要と同様		ア	給食の提供数(事業日数1日あたり)
			食
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	地場産食材の購入量
前年度と同じ			トン
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ウ	食に関する指導の実施回数
国分地区の小中学校の児童・生徒			回
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
栄養バランスのとれた豊かな食事を摂り健康維持・増進が図られる。偏食をなくし正しい食習慣を身につける。食糧の生産から消費に関する正しい理解ができる。		名称	
		単位	
		ア	国分管内の児童・生徒
			人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
健康な体が育つ		名称	
		単位	
		ア	食習慣に問題の有る子供の数
			人
		イ	残食の量
			トン
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	健康診断で要注意・要治療となった児童生徒の割合
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	54,806	53,111	51,427	56,656		
	事業費計(A)	千円	54,806	53,111	51,427	56,656			
活動指標		ア	食	6,286	6,308	6,297	6,300		
		イ	トン	14	15	14	15		
		ウ	回	22	30	111	120		
対象指標		ア	人	5,855	5,868	5,865	5,892		
		イ							
		ウ							
成果指標		ア	人	79	110	150	150		
		イ	トン	26	30	32	30		
		ウ							
上位成果指標		ア	%	5	4	4	4		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
学校給食法が制定されたことを受け、それと同時に本事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
ドライシステム化している所としてない所があり、今後センター化を含め検討すべきである。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	国分地区小中学校単独調理場運営事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	栄養のバランスのとれた豊かな食事を摂ることにより、健康の維持・増進が図られ、健康な体が育つ。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	学校給食法により市が行うこととされている。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象・意図ともに現在の状態以外には限定・追加できない。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	学校栄養教諭等による「食育」指導を行うことにより、健康な体が育つ。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	児童・生徒の体力の低下や栄養のバランスの低下につながる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	他に類似する事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	単独校のセンター化及び学校給食センターの統廃合により削減は可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	学校給食センターとの連携により、人件費の削減は可能である。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	児童生徒に栄養バランスのとれた豊かな食事を提供する事業であり、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設の老朽化等に伴い、施設の再編等を考えていく必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 給食室はウエット方式が多く、機械・器具等も古くなっている。施設の再編等の検討が必要である。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 施設のセンター化及び統廃合を含め、ドライ方式に改めるべきである。

No.	1230-090	事務事業名	市学校保健会運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨き合うまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	01	学校教育の充実				所属G(係)	給食保健体育G
	基本事業名	03	体育保健指導の充実				電話番号	42-1111
予算科目	会計	一般	100704	164015	事業名	学校保健事業	法令根拠	霧島市学校教育推進事業補助金等に関する取扱要領

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
霧島市学校保健会に補助金を交付し、学校保健会が行う学校保健の振興及び児童生徒並びに教職員の健康の保持増進の活動を支援している。(市の活動)学校保健会に補助金を出すための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告書、補助金交付)を行う。(協会の活動)市学校保健研究協議会の開催、啓発活動、児童・生徒にポスター募集。市学校保健会とは、健康の保持増進を目的として設立した団体。市内医師会、校長会、養護教諭、栄養教員、PTA等を会員として運営されている団体である。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~)	
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業概要と同じ。		ア	補助した団体の活動数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年同様		イ	補助した団体の活動規模(学校保健研
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内の学校の児童生徒及び教職員 「補助金交付先」霧島市学校保健会 「補助対象活動」霧島市学校保健会研究協議会の開催		ウ	補助した団体活動の活動規模(啓発チ ラシ配布枚数)
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童生徒及び教職員の健康に対する意識を高める。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 児童生徒及び教職員の健康の保持増進が図られる。		ア	人口
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	研究協議会に参加して理解が深まった参加者数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	420	500	500	450	
事業費計(A)		千円	420	500	500	450		
活動指標		ア 事業	1	1	1	1		
		イ 人	250	270	270	270		
		ウ 部	13,000	13,500	14,000	13,000		
対象指標		ア 人	13,000	14,000	13,279	14,000		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア %	75	80	80	80		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	5	4	4	4		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 合併以前から開始され支援がなされてきた、平成18年4月1日に合併協議により新たに市学校保健会として開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	市学校保健会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	安心し学校生活が送れ、望ましい生活習慣の定着を図る。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	健康で安全な生活を送ることが出来る基本的な能力や態度を育成する。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象は児童・生徒及び教職員、意図は児童・生徒及び教職員の健康増進であり、適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	研修会等を充実させることで、さらに向上の余地はある。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	児童・生徒及び教職員の学校保健に対する意識が低下する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	主に研修会の講師謝金であり、補助金内で最大の事業をしており削減の余地は無い。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	事業に要する人件費は無く、広報と講師謝金等である。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市学校保健に係る全体的な会議なので公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校保健に対する意識を高めるために、大きな役割を果たしている。																						
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			▲																				
	低下	▲	▲	▲																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	1230-100	事務事業名	小学校体育記録会開催事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	0 1	学校教育の充実				所属G(係)	給食保健体育
	基本事業名	0 3	体育保健指導の充実				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 7	0 4	0 2	164025	学校体育事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
各小学校5・6年生の代表選手が一堂に集い、水泳及び陸上記録会を実施することにより、記録・技能・体力・気力の向上を図る。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 48 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
霧島市小学校水泳記録会 霧島市小学校陸上記録会		ア	水泳記録会に出場する児童数
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	陸上記録会に出場する児童数
霧島市小学校水泳記録会 霧島市小学校陸上記録会			人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市内小学校5・6年生		名称	
		単位	
		ア	児童の参加人数
			人
		イ	小5・6の児童数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
児童の記録・技能・体力・気力の向上を図る。		名称	
		単位	
		ア	新記録数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
体力・運動能力の向上と健康な体づくりの推進		名称	
		単位	
		ア	健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		809	805	865		
	事業費計(A)	千円	0	809	805	865			
活動指標		ア	人	497	434	474	450		
		イ	人	627	611	609	600		
		ウ							
対象指標		ア	人	1,124	1,045	1,083	1,050		
		イ	人	2,772	2,682	2,747	2,700		
		ウ							
成果指標		ア		2	2	4	2		
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア	%	5	4	4	4		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
霧島市内の児童の体力の実態を数量的に把握するために開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	小学校体育記録会開催事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 児童の体力・運動能力や気力の向上を図ることができる事業であり、政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 県教委から市教委に対して実施依頼がきており、市が実施するのが妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は小学校5年6年生、意図は小学生の体力向上であり、適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 霧島市の小中学生の体力測定結果は、種目によっては県平均より低いものもあるが、今後の取組によって成果向上の余地はある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 霧島市の体育記録会を廃止・休止した場合は、児童の運動の機会及び意欲の低下につながる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) これ以上の削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 霧島市内1箇所で開催し最低限の職員で対応しており、これ以上の人件費の削減はできない。対象が児童であり、事故等の責任を考えれば委託は困難である。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 市内全小学校の5・6年生が対象であり、受益の機会は公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	子供たちの体力低下が大きな課題となっており、その課題への対応策として必要な事業である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

No.	1230-110	事務事業名	中学校・高校各種大会参加支援事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	01	学校教育の充実				所属G(係)	給食保健体育G
	基本事業名	03	体育保健指導の充実				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	07	04	164025	学校体育事業	霧島市学校教育推進事業補助金等に関する取扱要領	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
中学校・高等学校体育連盟が主催等をする地区大会以上の大会に参加する場合、交通費の2分の1を補助する。宿泊費については、九州・全国大会に参加する場合に2分の1を補助する。ただし、1泊につき7,000円を上限とする。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 5 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業と同じ		ア	補助金交付件数
			件数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	補助金の額
事務事業と同じ			円
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
大会に参加する生徒		名称	
		単位	
		ア	大会に参加する生徒
			人(団体)
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
スポーツへの取り組みが向上する。保護者の経済的負担が減少する。		名称	
		単位	
		ア	参加費のうち負担軽減された割合
			割合
		イ	交付金額
			円
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツを行う環境が整う。		名称	
		単位	
		ア	健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	3,361	5,000	5,688	4,050	
	事業費計(A)	千円	3,361	5,000	5,688	4,050		
活動指標		ア 件数	22	25	33	25		
		イ 円	3,361	3,473	5,688	3,500		
		ウ						
対象指標		ア 人(団体)	2,035	2,049	2,052	2,035		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 割合	50	50	50	50		
		イ 円	3,361	3,473	5,688	3,500		
		ウ						
上位成果指標		ア %	5	4	4	4		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成5年から心身ともに健全な生徒の育成及び保護者の負担軽減を図るために開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
生徒の減少により活動種目が減少している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	中学校・高校各種大会参加支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? スポーツへの取り組みが向上することにより健康な体が育つため結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市立中高の部活動の推進は市の役割である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 部活をする生徒で適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 補助の負担割合を増額することにより、大会への参加がより積極的になると考える。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 保護者等の負担が増大する。部活をする生徒が減少する。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 参加費の補助なので事業費の削減は成果の下降につながる。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 事務処理の上で必要な業務を行っている。また正職員以外の職員では難しいと考える。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 保護者の負担軽減を行うものであり公平・公正である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校生活の中で中・高等学校のわずが6年間の中での事業であり、支援するのは当然のことである。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	1230-130	事務事業名	学校遊具施設点検修繕事業				所属部	教育部			
							所属課	保健体育課			
政策体系	政策名	0	4	郁み磨きあうまちづくり			課長名	藤山 光隆			
	施策名	0	1	学校教育の充実			所属G(係)	給食保健体育G			
	基本事業名	0	5	教育環境の整備			電話番号	42-1111			
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
		一般	1	0	0	7	0	4	164025	学校体育事業	学校保健安全法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間	
各学校の遊具の設置は古いものが多く、老朽化し危険な状況のものから順次改修又は新設を行う事業である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 33 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
修理箇所の把握及び修繕		ア	要修繕遊具数
			件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
改修を必要とする遊具		名称	
		単位	
		ア	修繕実施遊具数
			件
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
児童・生徒が安全で快適な利用ができる施設にする。		名称	
		単位	
		ア	修繕遊具改善率
			%
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
適切な教育環境で教育が受けられる(教育環境整備が整う)		名称	
		単位	
		ア	学校安全点検結果に基づく改善率
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		5,000	4,210	4,500		
	事業費計(A)	千円	0	5,000	4,210	4,500			
活動指標		ア	件	414	374	283			
対象指標		ア	件	40	91	100			
成果指標		ア	%	9	24	35			
上位成果指標		ア	%	65	67	69	71		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
遊具施設は設置年数が長く、合併時から修理・改修を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
年を経るたびに改修と修理が増加している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	学校遊具施設点検修繕事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	児童生徒の安心安全を考えれば、遊具施設の点検修理にもっと経費をかける必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

No.	1230-160	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	所 属 部	教育部
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所 属 課	保健体育課
	施策名	0 3	スポーツ、芸術文化の振興	課 長 名	藤山 光隆
	基本事業名	0 1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり	所 属 G (係)	スポーツ振興 G
				電 話 番 号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1 0	0 7	0 2	162090	社会体育振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、6区間21.095kmの区間で競走し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。 ・参加チーム (鹿児島地区・揖宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊毛地区・大島地区)計12チーム ・参加選手 各地区より16名(選手は一般、大学生、高校生、中学生) ・コース 霧島市隼人運動場をスタート 鹿児島神宮前交差点 鹿児島神宮入口交差点 木之房交差点 ホテル京セラ前交差点 河川敷 野口橋交差点 下井 野口橋交差点 ホテル京セラ前交差点 鹿児島神宮入口 鹿児島神宮前交差点 霧島市隼人運動場		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 63 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業の概要と同じ 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年と同じ 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・地区対抗女子駅伝大会出場者 ・補助金交付先 > 地区対抗女子駅伝競走大会運営委員会 ・補助対象活動 > 運営に関する経費 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 駅伝中に選手が怪我や事故をしないコースづくり 選手が気持ちよく走れるコースづくり 市民が安全に応援できる環境づくり 結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツを通じ互いに交流することで親睦を図る。 スポーツ活動に取り組む仲間が増える。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 交通指導員設置人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 中継所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>ウ コース美化距離</td> <td>km</td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 大会支援者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 駅伝大会出場者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 怪我や事故をした選手数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 気持ちよく走れたコースの距離数</td> <td>km</td> </tr> <tr> <td>ウ 安全に応援できた箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア スポーツ、芸術文化団体・組織の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ 団体・組織の会員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 交通指導員設置人数	人	イ 中継所数	箇所	ウ コース美化距離	km	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 大会支援者数	人	イ 駅伝大会出場者数	人	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 怪我や事故をした選手数	人	イ 気持ちよく走れたコースの距離数	km	ウ 安全に応援できた箇所数	箇所	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア スポーツ、芸術文化団体・組織の数	団体	イ 団体・組織の会員数	人	ウ	
名称	単位																																								
ア 交通指導員設置人数	人																																								
イ 中継所数	箇所																																								
ウ コース美化距離	km																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 大会支援者数	人																																								
イ 駅伝大会出場者数	人																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 怪我や事故をした選手数	人																																								
イ 気持ちよく走れたコースの距離数	km																																								
ウ 安全に応援できた箇所数	箇所																																								
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア スポーツ、芸術文化団体・組織の数	団体																																								
イ 団体・組織の会員数	人																																								
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,000	2,700	2,700	2,864		
事業費計(A)		千円	3,000	2,700	2,700	2,864			
活動指標		ア 人	25	45	45	50			
		イ 箇所	6	6	6	6			
		ウ km	5	5	5	6			
対象指標		ア 人	180	400	400	400			
		イ 人	192	192	192	192			
成果指標		ア 人	0	0	0	0			
		イ km	21	21	21	21			
		ウ 箇所	25	65	70	75			
上位成果指標		ア 団体	226	220	213	220			
		イ 人	14,698	14,677	15,899	16,000			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
昭和63年に南日本放送の創立35周年を記念し、鹿児島県的女子駅伝の底辺拡大とレベルアップを図るとともに、鹿児島県の地域興しを目的に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
地域に根付いた駅伝大会として年々沿道応援者が増加している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
住民・関係者より、地元で開催されるため、選手強化を図り上位進出を目指してほしいとの声がある。	

事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 周辺の他自治体が行なう駅伝大会などはあるが、女子のみの駅伝大会はほかにない。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 県内で開催される女子のみの駅伝大会であり、またMBCテレビが主催する大会のため、他の駅伝大会との統廃合は困難と思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	女子にとって県内最大の大会であり選手の育成やレベルアップに寄与している。職員以外に体育指導委員やボランティアの協力を得ており今後もこれらの枠を広げつつ支えていきたい。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 職員以外にも体育指導委員やボランティアの協力を得て裏方として大会を支えている。今後も多くのボランティアの協力体制のもと実施していきたい。 ボランティア体制が整うことで、事業費は下げることは可能である。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																			

No.	1230-170	事務事業名	市各地区スポーツ祭開催事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	0 3	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	スポーツ振興G
	基本事業名	0 1	スポーツ、芸術活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	一般	1 0	0 7	0 2	162090	社会体育振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

市内の各地区ごとに体育祭や駅伝大会、バレーボール、ゲートボール等の大会を開催する事業。運営は市の教育委員会及び各地区教育振興課と各地区体育協会が連携して行っている。大会を開催することで、練習や試合を通して日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める機会となっている。実施しているのは溝辺・牧園・霧島・隼人・福山地区。平成21年度からは体育協会の支部制が廃止されることから、各地区において実行委員会を立ち上げて運営を行う予定である。

事業期間

単年度のみ

単年度繰返 ↳ (S 33 年度 ~)

期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同じ	参加者数	千人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	国分・横川地区も新たに実施する		
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	霧島市居住者及び勤務者	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象指標としては市の人口を設定する。		名称	単位
		人口	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	スポーツ祭を通して住民相互の親睦を図れる	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		スポーツ祭を通じて親睦を図れた市民の数	千人
結果(どんな結果に結び付けるのか)	スポーツ活動に取り組むきっかけが得られる	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		きっかけづくりの活動(スポ-ツ・芸術・文化教室等)に参加者のべ人数	人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,802	2,000	1,964	2,547		
事業費計(A)	千円	1,802	2,000	1,964	2,547				
活動指標	千人	58	58	58	86				
対象指標	人	127,615	127,773	127,450	128,383				
成果指標	千人	58	58	58	80				
上位成果指標	人	55,086	57,516	57,100	58,000				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

地域の活性化や親睦と融和を目的に、霧島地区(昭和33年~)・隼人地区(昭和44年~)・福山地区(昭和52年~)・溝辺地区(昭和58年~)・牧園地区(平成9年~)においてスポーツ祭が行われていた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

少子高齢化に伴い、地区によっては選手の選考に苦慮している地区公民館がみられる。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

参加者からは存続を望む声が多い。また、体育部長等からは選手集めに苦労しているとの声もある。霧島地区では昭和33年から続いている歴史ある事業のため、存続を望む声が多い。

事務事業名	市各地区スポーツ祭開催事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	大会参加者はどこの地区も固定化しつつあり、参加資格の年代層の幅及び競技種目の見直しが必要であると思われる。参加者数としては、平成21年度からは国分地区・横川地区でも開催されることから増えることが期待できる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	スポーツ祭を通じて地域の親睦と融和を深められており、廃止されると親睦の機会が大きく減少するとともに、スポーツに親しむ機会が減少し、結果として地域が寂れていくと感ずる市民が増えることが想定される。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	賞状やコピー代等の必要最小限の事業費で行っており、削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	最小限の職員で対応しており、削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	大会への参加は、地区公民館を通じて広く呼びかけられており、参加機会は等しくあり公平である。公民館に加入していない方については、大会が地域対抗で行われることから基本的には参加できないが、公民館に加入すれば参加できるため不公平とはいえない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	大会参加者は固定化しつつある地区もあり、参加資格の年代層の幅及び競技種目の見直しが必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	期待成果マトリックス <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持																					
低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

No.	1230-190	事務事業名	青少年サマースポーツフェスタ開催事業	所属部	教育部
				所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	課長名	藤山 光隆
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興	所属G(係)	スポーツ振興G
	基本事業名	01	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり	電話番号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	10	07	02	162090	社会体育振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
野外でスポーツをすることにより、自然を大切にすることを醸成し、困難に立ち向かうたくましい実践力を養うとともに、異年齢間の交流を深めることを目的とする事業 ・種目(カヌー)、(バレーボール2面)、(サッカー2面)、(ドッジボール2面)、フリースロー(2ヵ所)、キックターゲット(1ヵ所)、ストラックアウト(1ヵ所)、スイカ種飛ばし(1ヵ所)ニュースポーツ(ディスゲッター9・シャッフルボール) 開催場所:天降川ふるさとの川河川公園 開催日時:8月の第1日曜日(雨天中止) 開催時間:9:00~13:00 参加料:500円(弁当代込み) 参加資格:原則として霧島市内の小学4年生以上から高校生 申込書:教育委員会保健体育課及び各出張所教育振興課に備え付けてある。 申込先:教育委員会保健体育課及び各出張所教育振興課へ参加料を添えて申し込む。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 10 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
・競技種目カヌー・バレーボール・サッカー・ドッジボール・フリースロー・キックターゲット・ストラックアウト・スイカ種飛ばし・ニュースポーツ体験 ・参加者270名(小学校4年生から高校生を対象)		ア 種目数	種目
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 関係者・ボランティア数	人
前年同様		ウ 参加者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市内の小学校4年生以上から高校生		名称	
<補助金交付先>青少年サマースポーツフェスタ実行委員会 <補助対象活動>運営に関する経費		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称	
野外スポーツを通じ異年齢間の交流を深める		単位	
ニュースポーツを経験できる		ア 異年齢間で交流した参加者の数	人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		イ ニュースポーツの経験者数	人
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化教室等)に参加者のべ人数	人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	470	423	423	423
		事業費計(A)	千円	470	423	423	423
活動指標	ア 種目		5	5	9	9	
	イ 人		50	63	69	70	
	ウ 人		100	245	270	300	
対象指標	ア 人		11,410	11,322	11,975	12,000	
	イ 人						
	ウ 人						
成果指標	ア 人		252	245	270	250	
	イ 人		100	200	112	210	
	ウ 人						
上位成果指標	ア 人		55,086	57,516	57,100	58,000	
	イ 人						
	ウ 人						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成10年に旧隼人町で実施し、現在も継続している。きっかけは青少年の犯罪化やいじめが進んでいるため、この抑止策として夏休みの期間を利用し、スポーツを通じた異年齢交流を行い困難に立ち向かうたくましい実践力を養う子供の育成を目的として始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
カヌーについては、河川の整備に伴い利用しやすくなった。また、開催当初100名程度であった参加者も年々増えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
高校生が実行委員をつとめ、またポスター等も作成するなど、青少年を中心とした大会であり好評を得ている。来年も参加したいという声が多かった。	

事務事業名	青少年サマースポーツフェスタ開催事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 小学生・中学生・高校生を対象に、野外スポーツ・ニュースポーツの経験や異年齢間の交流を深めることを目的としておりスポーツに取り組むきっかけが得られる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ スポーツを通じた異年齢間交流は、青少年育成(霧島市内の小学校4年生以上から高校生)として必要な事業である。また、体育指導委員・青年団なども事業に参加しており、幅広い年代間で様々なスポーツを体験する大会として市が実施することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 18年度までは単人で行っていたが、19年度からは霧島市全域の小・中・高生に参加の範囲を広げて実施した。また、霧島市に大学が2つあるため、範囲を広げ見直し余地はある。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 当初「できるだけ子供たちの自主性を引き出す」ということを目的に実行委員会に生徒の代表を入れたり、ポスター等のデザインを子供たちにお願してきた。今後更に中心となる子供たちを増やし、これらの子供たちが中心となり、大人がスタッフとなりサポートしていくことで、青少年を中心とした大会の開催が可能になる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ カヌーやフライングディスクなどニュースポーツの体験の場や異年齢間でスポーツを楽しむ機会が少なくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 青少年を中心としたイベントとしては、ほかに類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 大会の運営費は、市の補助金と参加者の参加料からなるが、今年度は補助金額が減ったため参加料を引上げ実施した。また、例年、後援各社より飲み物、賞品等を提供していただいているが、市が補助金を下げることで参加者の負担や後援各社の負担が増えることが予想される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 合併前は旧単人町のみを青少年を対象に実施してきたが、合併後、霧島市全体を対象としたため参加者は今後増加すると思われる、やり方を検討しなければ業務時間の削減は困難な状況である。これまで、高校生・体育指導委員・青年団・ボランティアなど職員以外の方々の協力を得て実施してきた大会である。市職員は当日の受付・運営だけでなく、後援依頼や企画・PRなど全般に関与している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 対象が青少年限定ではあるが、霧島市全体に参加を呼びかけているため機会の公平性は確保されている。受益者負担額(参加料)については実行委員会が決定しているが、参加者一人当たりの経費と比較すると妥当な金額である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	異年齢間の交流を図る目的で実施している。青少年中心のイベントであり各社より後援を頂いている。今後は参加者の増が課題と思われる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持																					
低下																					
<改革改善案> 内容については現状どおりでよいと思われるが、市内各地域への啓発と参加者の増加を図ることが大切である。小学4年から高校生までと年代の幅は広く、異年齢間での交流が期待できるイベントである。参加者を増やすため、そのやり方や受益者負担(参加料)を協議する必要がある。夏休みに実施するため、PR方法やその時期を考慮する必要がある。																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
少年団活動や子供会活動等と競合しないよう各団体や学校に早めに呼びかけること。

No.	1230-200	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	スポーツ振興G
	基本事業名	01	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	10	07	02	162090	社会体育振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市民の健康増進とスポーツ交流人口の増大及び上野原縄文の森の幅広い周知拡大を図る。 ・場所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等行なっている。また、舞鶴なべの無料提供などを別途実施している。 ・種目 ジョギングの部 3.0km (一般男子、一般女子、中学男子、中学女子、小学男子、小学女子) 駅伝の部 一般男子エリート 5区 16.2km、一般男子 7区 9.8km、一般女子・混成・中学男女 7区 9.8km、小学男女 9区 9.9km 参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)2,000円/人・中学生以下1,000円/人 駅伝の部 一般(中学生以上)6,000円/チーム・小学生 4,000円/チーム 主催は、縄文の森駅伝大会実行委員会で市は補助金を交付している。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 3年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)									
(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
20年度実績(20年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア:駅伝・ジョギング参加者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ:ジョギングコース(部門)の数</td><td>コース・部門</td></tr> <tr><td>ウ:駅伝コース(部門)の数</td><td>コース・部門</td></tr> </table>	名称	単位	ア:駅伝・ジョギング参加者数	人	イ:ジョギングコース(部門)の数	コース・部門	ウ:駅伝コース(部門)の数	コース・部門
名称	単位								
ア:駅伝・ジョギング参加者数	人								
イ:ジョギングコース(部門)の数	コース・部門								
ウ:駅伝コース(部門)の数	コース・部門								
事業の概要と同じ									
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	⇒								
前年と同様									
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⇒								
縄文の森駅伝大会参加者	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア:縄文の森駅伝大会参加者数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア:縄文の森駅伝大会参加者数	人				
名称	単位								
ア:縄文の森駅伝大会参加者数	人								
<補助金交付先> 縄文の森駅伝大会実行委員会									
<補助対象活動> 大会の運営に関する経費									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⇒								
ジョギングや駅伝を楽しんでもらう。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア:ジョギング・駅伝を楽しんだ参加者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ:イベント参加者数(舞鶴なべ等)</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ: *ジョギングやイベントに参加したら縄文の森を知ることができたと思える</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア:ジョギング・駅伝を楽しんだ参加者数	人	イ:イベント参加者数(舞鶴なべ等)	人	ウ: *ジョギングやイベントに参加したら縄文の森を知ることができたと思える	
名称	単位								
ア:ジョギング・駅伝を楽しんだ参加者数	人								
イ:イベント参加者数(舞鶴なべ等)	人								
ウ: *ジョギングやイベントに参加したら縄文の森を知ることができたと思える									
上野原縄文の森を知ってもらう									
結果(どんな結果に結び付けるのか)	⇒								
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア:きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化教室等)に参加者のべ人数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア:きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化教室等)に参加者のべ人数	人				
名称	単位								
ア:きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化教室等)に参加者のべ人数	人								

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	2,452	2,207	2,207
	事業費計(A)	千円	2,452	2,207	2,207	2,207
活動指標	ア	人	1,876	2,031	2,130	2,150
	イ	コース・部門	1(6)	1(6)	1(6)	1(6)
	ウ	コース・部門	1(8)	1(8)	1(8)	1(8)
対象指標	ア	人	1,876	2,031	2,130	2,150
	イ					
	ウ					
成果指標	ア	人	1,876	2,031	2,130	2,150
	イ	人	5,500	5,500	6,000	6,000
	ウ					
上位成果指標	ア	人	55,086	57,516	57,100	58,000
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成4年3月にハイテク展望台の完成を記念し、多くの市民の方々に楽しんでもらうことを目的にテクノパークで「ハイテク展望台完成記念完走歩大会」として第1回目を開催。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成7年の第4回大会より協賛金をつのり規模拡大している。平成10年3月に上之原テクノマラソンに名称変更。平成15年第12回大会より上野原縄文の森がオープンしたことにより国分縄文の森駅伝へ名称変更。また、20年度より大会名称から国分を省き、縄文の森駅伝大会へと変更。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<参加者> ジョギングへの意見(コースを延長してほしい。)駅伝への意見(区間のタイムを計測してほしい)	
<関係者> 駅伝終了後、抽選会の参加者を増やす方法の検討が必要。縄文の森という場所を考慮し様々なイベントが自然・環境面を考慮するよう工夫が必要。	

事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 参加者が健康づくりやスポーツを楽しむためのきっかけとなる大会であり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市民の健康づくりの場として大会を行なうことは、健康を維持するよいきっかけであり、また、縄文の森で開催することで広くPRすることができるため、市が行なうことが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 現在の大会参加者には、霧島市民のみならず駅伝・ジョギングを楽しみたい市外の方も含まれている。年々参加者も増えているイベントであるので、ジョギングや駅伝を楽しんでもらう、上野原縄文の森を知ってもらうという現状の意図を継続することが望ましい。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 参加者がけがや事故もなく楽しんでもらう大会にするため、参加者のアンケート内容や声を十分に検討し、より良い大会運営に心がけなければならない。そのためには、現状で満足するのではなく、向上心をもって運営していかなければならない。更に、できるだけ広く周知することで参加者を増やすことが可能である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 旧国分市時代から数え今年で18回目を迎え、駅伝大会としての知名度も上がり、毎年市外・県外からの参加者が増えている。駅伝への参加のみならず、縄文の森や霧島市の観光を楽しんでもらうよい機会でもあるため廃止すべきではない。駅伝やジョギングを楽しむ機会が少なくなる。中学生に関しては、市内で参加できる駅伝大会がなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) 旧町(横川地区、満辺地区)単位で行なっている駅伝大会、また周辺の他自治体が行なう駅伝大会などがあるが、霧島市民が参加できないものが多い。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 霧島市内で開催されるウォーキングやマラソン大会と統廃合することは可能だが、それぞれ開催する場所での意味合いが異なるため、早急に統廃合は困難と思われる。開催場所・時期を十分検討することで将来的には統廃合は可能と思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は全てが補助金額となる。大会の運営費は市の補助金のほかに、市内の多くの企業や事業所から協賛を頂き運営している。市が補助金を下げることで参加者の負担や協賛者側の負担が増えることが予想される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 合併後、運営に携わる担当職員が減っている現状にあり、やり方を十分検討しなければ業務時間の削減は困難な状況である。これまでも、中・高校生・体育指導委員など職員以外の多くの方々との協力を得て開催してきた大会である。市職員は、前日、当日の受付、運営だけでなく大会の企画、PR、協賛金の募集活動などの事務全般を担っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 受益者は大会への参加者であり、誰でも参加できるため、機会の公平性は確保されている。受益者負担額(参加料)に関しては、実行委員会が決定しているが、参加者1人あたり経費と比較すると特に駅伝に関しては、水準が低めとなっているため見直し余地はある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民の健康づくりとしてできた大会であり、駅伝大会として知名度もあり、安全面からも参加者が増えている。市の参加のあり方や受益者負担の見直しが必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 参加者も少しづつではあるが増えている。今後も色々な関係者の協力をえながら進めていきたい。 受益者負担(参加料)の協議 市外も含むPR活動の強化																		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持 増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> </table>				コスト				削減	維持 増加	成果	向上			維持		/	低下	/	
		コスト																	
		削減	維持 増加																
成果	向上																		
	維持		/																
	低下	/																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 寄付金集めで職員はもとより、国分地区体育指導委員の協力を頂いている。今後は全市の協力体制が必要になる。

No.	1230-210	事務事業名	学校体育施設開放事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	スポーツ振興G
	基本事業名	02	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	07	02	162010	学校体育施設開放事業	スポーツ振興法	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放する。開放する対象施設は、霧島市内の全ての小・中学校体育施設とし、霧島市内に居住する市民であれば誰でも借りることができる。 小学校(屋内32箇所・屋外34箇所)、中学校(屋内13箇所・屋外13箇所) 合計92箇所 申込み方法:国分地区においては各地区公民館を通じ申し込む。他の地区においては学校へ直接申し込む。・開放時間は学校行事の関係上、学校へ確認。・受益者負担:国分地区においては公民館、他の地区においては学校へ直接確認。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 40 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事業の概要と同様		ア 学校の体育施設の数	
		イ	
		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
前年同様		名称	
		単位	
		ア 人口	
		イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		ア 有効活用者数	
		イ 有効活用団体数	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツ活動の場を提供する。		名称	
		単位	
		ア スポーツを行なう環境が整っているとする市民の割合	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)			
スポーツや芸術活動を行なう環境が整う。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,316	1,996	1,647	2,142	
	事業費計(A)	千円	1,316	1,996	1,647	2,142		
活動指標	ア	施設	92	92	92	92		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	延人	217,226	220,102	223,717	226,000		
	イ	団体	279	326	246	280		
	ウ							
上位成果指標	ア	%	42	39	43	44		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和36年に制定されたスポーツ振興法第13条によると、学校教育に支障のない限り学校のスポーツ施設を一般のスポーツの利用のために供するように努めなければならないこととされており、これに基づき昭和40年から学校開放施設整備の取り組みを開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
体育施設が建設されてから年数が経過しており、整備・改修を要する施設が増えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<利用者> 利用報告書式が複雑なため簡素化してほしい。人口密度の高い地域においては利用頻度が高くなかなか借りられない状況にあるため、どうかしてほしい。	

事務事業名	学校体育施設開放事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↷	結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷	妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷	適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↷	向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↷	影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	他 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	統廃合できる ↷	連携できる ↷	統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↷	公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
目的妥当性	適切	見直し余地あり	身近なスポーツ活動の場の提供として開放しているが施設の利用頻度は高く、今後も継続していく必要がある。																								
有効性	適切	見直し余地あり																									
効率性	適切	見直し余地あり																									
公平性	適切	見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持	<input type="checkbox"/>	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																								
事業統廃合	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																									
<改革改善案>																											
活動団体は活動拠点(地元)の近くの施設利用を希望しているので、今後も調整して開放施設側の理解を得ていく。																											

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	1230-360	事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	所 属 部	教育部
				所 属 課	保健体育課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	課 長 名	藤山 光隆
	施策名	0 3	スポーツ、芸術文化の振興	所属G(係)	スポーツ振興G
	基本事業名	0 2	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり	電 話 番 号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	スポーツ振興法 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1	0	0	7	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
地域内の子供から高齢者までが、日常的にスポーツを楽しめる環境をつくる。現在、舞鶴中学校・隼人体育館を拠点とした活動が展開され、一定の組織化が図られている。これらスポーツクラブの基盤となる会員の募集や3年間の財政面での補助を行なうことで安定したクラブ活動が展開されるよう支援する。 ・スポーツクラブへの入会申込みは下記のクラブへ直接申し込む。 国分舞鶴スポーツクラブ事務局(舞鶴中学校内) 46-8311 NPO法人隼人錦江スポーツクラブ事務局(霧島市隼人体育館2階) 55-0188		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (18 年度 ~ 22 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) クラブ育成のため補助金(18~22年度) 20年度 国分舞鶴スポーツクラブ2,736,000円 隼人錦江スポーツクラブ 599,000円 会員獲得のための市報等による啓発活動 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 当初、平成20年度で終了する予定だったが、スポーツクラブが自力で経営できる状態になっていないことから、平成22年度まで支援事業期間を延長した。		単位 ア 啓発活動回数 回 イ ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・国分舞鶴スポーツクラブ会員 ・隼人錦江スポーツクラブ会員 ・地域住民		名称 ア 地域住民の数 人 イ 総合型地域スポーツクラブ数 団体 ウ 総合型地域スポーツクラブ会員数 人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
気軽にスポーツを楽しむ地域住民が増える。		名称 ア スポーツクラブ会員数/地域住民数 % イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツや芸術活動を行なう環境が整う		名称 ア スポーツを行なう環境が整っていると考える市民の割合 % イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
投入量	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	3,900	3,418	3,335	2,668
		事業費計(A)	千円	3,900	3,418	3,335	2,668
活動指標	ア	回	2	2	4	10	
	イ						
	ウ						
対象指標	ア	人	35,328	35,328	35,328	35,328	
	イ	団体	2	2	2	2	
	ウ	人	880	1,179	1,346	1,400	
成果指標	ア	%	3	3	4	5	
	イ						
	ウ						
上位成果指標	ア	%	42	39	43	44	
	イ						
	ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
これまで企業・行政が仕掛けるスポーツ活動から地域に密着した住民主体のスポーツ理解へと転換する施策が国から示された。地域を拠点としたスポーツ活動を展開するためクラブ設立に向けて取り組んだ。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
全国でクラブ設立に向けての取り組みがなされ、地域に密着したスポーツ活動が展開されてきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
手軽にスポーツを楽しめる環境が整うには、指導者の育成や施設の充実が必要。	

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	スポーツクラブへの支援は、地域で日常的なスポーツを気軽に楽しむための環境づくりを支援するものである。スポーツクラブが地域に溶け込むことによりスポーツを楽しめる環境が整うため政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	企業・行政が仕掛けるスポーツ活動から地域に密着した住民主体のスポーツ理解へと転換する施策が国から示され、これを行政が支援することは妥当である。総合型地域スポーツクラブの設立当初は、会員も少なく安定的な収入確保ができないため運営面での支援が必要である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	市内に2つのスポーツクラブがあり、現在その2団体の会員を対象としているため対象・意図は適切と思われる。今後、他の地域においてスポーツクラブが発足した場合、対象拡充すべきと考える。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	クラブが安定した財政基盤を維持し続けるためには、会費の継続収入が最も重要である。クラブを維持し続けていくためには広報活動を継続し新規会員獲得及び継続会員の確保に努力しなければならない、努力し続けることで成果の現状水準は向上するものと思われる。
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	補助金を廃止することで運営費が削減されるため、安定した会員数が確保できなければクラブの存続そのものに影響があるものと思われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市内2つのスポーツクラブは、それぞれの地域で日常的にスポーツを楽しむ場として環境を整えているが、NPO法人で市の指定管理者である錦江スポーツクラブとそうではない舞鶴スポーツクラブでは運営規模や活動内容が異なるため、統合することは困難である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	補助金の使途は主に運営経費であるが、現時点の会費収入は不安定であり補助金の大幅な削減により運営は圧迫すると思われる。しかしながら、毎年会員数は増加しているおり、安定的な会費収入が確保されることで補助金の削減は可能である。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	現在、2つのスポーツクラブに対しそれぞれの地区の職員が携わっているが、窓口を一つにすることで業務時間の短縮は可能である。また、クラブ自身が安定財政基盤を整え自主運営が可能となれば、これまで市職員が行ってきた補助金等に関する事務が不要となり人件費は大幅に削減される。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	補助金はクラブを育成するための補助金であり、その補助金及び会費によりクラブは様々なスポーツ環境を整えている。クラブは市内に2地区しかないが、受益者は会費を払うことでスポーツを楽しむ機会を得ているため公平性は確保されていると思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域でスポーツを楽しむためにスポーツクラブができたが、会員数の確保が困難である。今後、行政がどこまで支援できるか考えなければならない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	会員獲得がクラブ存続の重要課題であり、獲得策を十分考慮しなければならない。																										
<改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 相互に協議しながら、将来1本化も含め進めることが必要と思われる。

No.	1230-370	事務事業名				所属部	教育部
		体育指導委員活動事業				所属課	保健体育課
		政策名	04	育み磨きあうまちづくり		課長名	藤山 光隆
		施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興		所属G(係)	スポーツ振興G
基本事業名	03	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	42-1111		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	10	07	02	162090	社会体育振興費	スポーツ振興法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市内の各地区から推薦された方を教育委員会が体育指導委員として任命し、スポーツ行事等への協力及び住民のスポーツ振興のため指導・助言を行ってもらう。 ・各地区の体育指導委員(国分27人、溝辺12人、横川8人、牧園10人、霧島7人、隼人20人、福山8人)計91人 ・体育指導委員の指導・協力を得て開催・主催した大会等 ミニバレーボール大会(国分)・ニュースポーツ指導(全地区)・ルーマソソ大会(牧園)・マスケム指導(全地区)・女性ナイター運動会(霧島)・サマースポーツフェスタ(国分・隼人)・ウォーキング大会(溝辺)・県下一周駅伝・女子駅伝大会(国分・隼人)など		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 36年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

手段(主な活動)
20年度実績(20年度に行った主な活動)
事業の概要と同様
21年度計画(21年度に計画している主な活動)
前年同様
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
体育指導委員 市民
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
体育指導委員の指導力が向上する。 市民のスポーツへの関心が高まる。
結果(どんな結果に結び付けるのか)
スポーツを通じ互いに交流することで親睦を図る。スポーツ活動に取り組む仲間が増える。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 体育指導委員開催行事	回
イ 会議の回数	回
ウ 指導回数	回
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 体育指導委員数	人
イ 市民	人
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 指導割合(指導可能な体育指導委員数/体育指導委員数)	%
イ スポーツに接する機会が増えた市民/スポーツ指導人数	%
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア スポーツ、芸術文化団体・組織の数	人
イ 団体・組織の会員数	人
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,458	9,043	8,923	8,218	
		事業費計(A)	千円	6,458	9,043	8,923	8,218	
活動指標	ア	回	1	1	1	1		
	イ	回	13	81	61	61		
	ウ	回	16	20	22	26		
対象指標	ア	人	91	91	91	91		
	イ	人	127,615	127,773	128,128	128,383		
	ウ							
成果指標	ア	%	50	50	未把握			
	イ	%	未把握	未把握	未把握			
	ウ							
上位成果指標	ア	人	226	220	213	220		
	イ	人	14,698	14,677	15,899	16,000		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和36年に交付されたスポーツ振興法に基づき、スポーツの実技や指導を行える体育指導委員として位置付けられた。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
高齢化が進む中、若い指導委員の確保が困難である。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	体育指導委員活動事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	体育指導委員は、本市スポーツの普及推進を担い、生涯スポーツの観点からも必要な存在である。市民の様々なニーズに応えられるよう資質向上が望まれる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 平成20年度に霧島市全体で一つの体育指導委員協議会として構成された。今後は、旧地区を越えた指導やイベント協力など広範囲での活動を期待している。																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 これまでの体育指導委員の活動を更に強化し、生涯スポーツの牽引者として努力していただきたい。また、旧地域を越えた活動を実施していきたい。

No.	1230-380	事務事業名	体育協会運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	藤山 光隆
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	スポーツ振興G
	基本事業名	03	スポーツ、芸術文化団体の育成				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	一般	10	07	02	162090	社会体育振興費		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市体育協会への補助事業 体育協会として各種スポーツ団体をまとめることにより、競技力の向上と市民へのスポーツ意識の高揚を図ることを目的としている。 【霧島市体育協会加盟団体・会員数】110団体・会員11,087名 【種目】陸上・水泳・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・柔道・バドミントン・弓道・ソフトボール・剣道・銃剣道・ハンドボール・クレ射撃・全空連空手道・ゲートボール・テニス・ラグビーフットボール・グラウンドゴルフ・カヌー・ボウリング・ゴルフ・レクリエーション・パークゴルフ・少林寺流空手道・女子ソフトボール(ソフトバレー)全30種目							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (S 40年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動) 各種競技団体による大会の開催
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	支部制が廃止され、競技団体の統一を行い、29団体となる。
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市体育協会加入者 <補助金交付先>市体育協会加盟団体 <補助対象活動>団体の運営
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	競技力が向上する。
結果(どんな結果に結び付けるのか)	スポーツを通じ互いに交流することで親睦を図る。 スポーツ活動に取り組む仲間が増える。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 大会の開催数	回
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 加盟団体数	団体
イ 加入者数	人
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 競技力が向上した人数	人
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア スポーツ団体、組織の数	団体
イ 団体・組織の会員数	人
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	18,017	18,017	17,578	14,620		
	事業費計(A)	千円	18,017	18,017	17,578	14,620		
活動指標	ア	回	146	150	156	160		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	団体	110	110	110	29		
	イ	人	11,510	11,106	11,087	12,000		
	ウ							
成果指標	ア	人	未把握	未把握	未把握	未把握		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	団体	226	220	213	220		
	イ	人	14,698	14,677	15,899	16,000		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和40年代、国の保健体育審議会答申「体育・スポーツの普及振興に関する基本方針について」を受け、市民一般の体育・スポーツの振興に力点を置くようになったことがきっかけ。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	18年6月23日に霧島市体育協会設立総会を開催し、旧1市6町の体育協会が一つに統合された。体育協会に加盟せず活動する団体が増えてきている。団体として制約にとらわれない活動を望む傾向にある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	支部制廃止後の団体活動の運営について、不安という声がある。

事務事業名	体育協会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民を対象とする団体で体力・健康増進のうえからもなくてはならないが、統一がなされていない団体があるので早急に統一をお願いしたい。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 合併にともない旧1市6町それぞれの体育協会をその種目ごとに統一し、市民が公平なサービスを受けられるよう進めていきたい。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地域間のエゴをなくし、霧島市として一本化することが大切である。																						

No.	1230-390	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	所 属 部	教育部
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所 属 課	保健体育課
	施策名	0 3	スポーツ、芸術文化の振興	課 長 名	藤山 光隆
	基本事業名	0 3	スポーツ、芸術文化団体の育成	所 属 G (係)	スポーツ振興G
				電 話 番 号	42-1117

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1 0	0 7	0 2	162090	社会体育振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
スポーツを通して青少年の健全育成を図るために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図ることを目的とする事業 ・スポーツ少年団登録料【登録料】団員：一人当たり(日本スポ少300円・県スポ少300円・市スポ少100円)、単位団：一団体当たり(市スポ少1,000円)、指導者：一人当たり(日本スポ少700円・県スポ少400円・市指導協1,000円)・平成21年度登録受付開始 4月23日～登録締切5月29日まで ・追加登録受付6月1日～追加登録締切7月17日まで ・スポーツ少年団育成費基準【育成費】(団員：一人当たり300円)(単位団：一団体当たり12,000円) ・スポーツ少年団の登録窓口 霧島市教育委員会 保健体育課		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 40 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
指導者育成研修会・交歓大会・フェスティバル大会の実施 登録競技種目		ア	指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	競技種目数
前年同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市スポーツ少年団員(市内小・中・高校生)		名称	
<補助金交付先>市スポーツ少年団(登録団体)		単位	
<補助対象活動>団体の運営		ア	市内の小・中・高校生の数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	登録団員数
基礎体力が向上する		ウ	単位団数
奉仕活動等へ参加できる		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
スポーツへの関心度が向上する		名称	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		単位	
スポーツ活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。		ア	基礎体力が向上した団員数
		イ	奉仕活動をした団員数
		ウ	スポーツへの関心度が高まった割合
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	スポーツ団体・組織の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,345	2,115	2,115	1,904	
事業費計(A)		千円	2,345	2,115	2,115	1,904		
活動指標		ア	回	3	4	3	3	
		イ	種目	14	14	14	14	
		ウ						
対象指標		ア	人	21,803	21,559	21,003	21,500	
		イ	人	2,242	2,053	1,936	2,000	
		ウ	団	105	99	98	99	
成果指標		ア	人	未把握	未把握	未把握	1,550	
		イ	人	未把握	179	173	190	
		ウ	%	未把握	未把握	未把握	55	
上位成果指標		ア	団	226	220	213	220	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
きっかけは、スポーツを通じ仲間づくりや青少年期におけるスポーツの楽しさを知る機会を増やすことを目的として開始。スポーツ少年団への補助を開始した時期は昭和40年頃。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
少子化の傾向にあるため、一単位団の団員数が伸び悩んでいる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
競技種目によっては団員の確保が難しく単位団としての活動ができないものがある。	

事務事業名	スポーツ少年団育成事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	スポーツ団体の育成として政策体系に結びついている。また、奉仕活動やスポーツへ関心を持つことで、団体に所属し様々なイベントに参加することで、親睦を図り、仲間を増やすことができるので、意図することが結果に結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	子供の基礎体力の低下やいじめなどが今日の社会問題になっているため、目的である健全な心身の鍛錬のために市が行うべきである。目的達成のために、運動の場や学年別でふれあう為の場を設け、交歓大会やその他スポーツ大会また、指導者研修回等を実施するため、費用が必要になる。
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	スポーツ少年団員を対象としているが、今後は指導者の育成も視野にいれ対象に追加すべきである。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	18・19年度の団員登録実績は、市内の全児童・生徒の約10分の1である。中高生は各学校の部活動に所属するため団員として登録をしない生徒もいるが、団員を増やし成果を向上させる余地はある。水準としては交歓大会や街頭募金などを行っているためあるべき水準と差異はほとんどない。問題としては、少子化により団員が減少するため成果向上が困難である。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	少年期の育成で、体力向上や親睦を図り仲間を増やすことは成長していく中で大切なことである。少年団育成を廃止・休止した場合そのような体力向上や仲間作りの場を少なくしてしまうこととなり、目的である健全な心身の鍛錬の場をなくしてしまうことになる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	青少年サマースポーツフェスタ開催事業と連携を図ることができれば、異年齢間で交流でき、親睦が図られ、仲間作りができるので成果の向上が期待できる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	少年団育成のための補助金であり、削減することで健全育成に要する費用も同時に削減しなければならなくなるため、成果は下がることになる。現時点で削減は困難であるが、合併後の団のあり方や育成方法を考慮することで将来的には削減も可能になるのではと考える。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	日本スポーツ少年団や鹿児島県スポーツ少年団との連携や市内の各施設や各競技団体との連携、大会等の把握など調整事務が多く、委託するより職員が行ったほうが効率が良い。また、合併後の団のあり方や育成方法を考慮することで将来的には業務時間の削減は可能と思われる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	登録料や育成費等、特に事業の内容が一部の受益者に偏っていることもなく、受益者負担は公平・公正であり問題はないものと思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	健全な心身の鍛錬のため大切な事業であるが、一部の地域や少子化で団員不足が起きている。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 事業のやり方は現状維持でいかなるえないと思われる。但し、燃え尽き症候群とならないよう指導者の意識の向上が必要である。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 少子化や一部の地域で過疎化がすすみ、団員数の不足が懸念されるため、統廃合やスポーツクラブの活動が必要と思われる。																	

No.	1230-400	事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業				所属部	教育部
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				所属課	保健体育課
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				課長名	藤山 光隆
	基本事業名	03	スポーツ、芸術文化団体の育成				所属G(係)	スポーツ振興G
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	07	02	162090	社会体育振興費	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
電話番号	42-1117							

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
県予選を勝抜き、九州大会・全国大会への出場が決定しているチーム又は、県選抜の一員として九州大会・全国大会への出場が決定している個人へ補助金を支給する。 ・補助の対象 (1)市内の小・中学校の児童・生徒及び団体(日本スポーツ少年団登録者及び団体、財団法人日本中学校体育連盟加盟校の部活動を除く。)(2)市内に居住する高等学校の生徒、社会人及びその団体(財団法人全国高等学校体育連盟加盟校の部活動、財団法人日本高等学校野球連盟加盟校の野球部を除く。)(3)前(2)に掲げるもの意外に市長が交付対象と認めるもの及び団体 (4)(1),(2)に規定する児童並びに生徒の引率者(最低人員)(5)補欠として出場する場合は、その出場する大会要綱等に定められた補欠人員。 ・補助金の額 九州大会(団体)30,000円、(個人)5,000円 全国大会(団体)50,000円、(個人)10,000円 県内開催時(団体)10,000円、(個人)3,000円・九州・全国大会が県内開催時の場合		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 30 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業の概要と同様 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・大会出場者(詳細は事業の概要のとおり) <補助金交付先>九州・全国大会各種大会出場者 <補助対象活動>出場者の経費負担 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 九州・全国大会へ参加できる個人・団体が増え、レベルアップにつながる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツを通じ互いに交流することで親睦を図る。 スポーツ活動に取り組む仲間が増える。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 支給件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア九州・全国大会出場チーム数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ九州・全国大会出場個人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 出場した個人・団体/出場が決定している個人・団体</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>アスポーツ、芸術文化団体・組織の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ団体・組織の会員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 支給件数	件	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア九州・全国大会出場チーム数	団体	イ九州・全国大会出場個人数	人	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 出場した個人・団体/出場が決定している個人・団体	%	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	アスポーツ、芸術文化団体・組織の数	団体	イ団体・組織の会員数	人	ウ	
名称	単位																																								
ア 支給件数	件																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア九州・全国大会出場チーム数	団体																																								
イ九州・全国大会出場個人数	人																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 出場した個人・団体/出場が決定している個人・団体	%																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
アスポーツ、芸術文化団体・組織の数	団体																																								
イ団体・組織の会員数	人																																								
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	350	520	795	585		
	事業費計(A)	千円	350	520	795	585			
活動指標		ア 件	12	14	28	20			
対象指標		ア 団体	7	12	23	15			
		イ 人	5	2	5	5			
成果指標		ア %	100	100	100	100			
上位成果指標		ア 団体	226	220	213	220			
		イ 人	14,698	14,677	15,899	16,000			
ウ									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和30年頃から、各種団体が出場する経費として一部補助している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? その年により補助対象者数が異なる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? <出場者> 予算額を広げてほしい。	

事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 県予選を勝ち抜き、九州大会・全国大会へ出場が決定しているチーム又は、県選抜の一員として九州大会・全国大会へ出場が決定している個人へ補助金を支給する事業であり、より高いレベルの大会へ参加することでレベルアップにつながり、スポーツを通じて選手同士の交流も深まるため結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 本市でスポーツを行なう者のうち九州・全国大会等に出場できるすぐれた選手の育成のため補助金を交付するもので、大会参加者の個人負担の軽減及び競技力向上につながるため市が行う必要がある。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 現在、九州・全国大会へ出場者を対象としており、対象範囲は適切と考える。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 九州・全国大会へ参加する者のうち個人負担が多く参加を断念する者も少なくない。この事業により個人負担が軽減されるため、九州・全国大会の参加者は増えスポーツ技術が向上する。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 現在の補助金で大会参加者の個人負担が軽減されているが、廃止することにより個人負担は増える。努力してつかんだ九州・全国大会へのチャンスを活かすため、参加に係る個人負担を少しでも軽減させることにより無理なく出場することができる。能力・技術共に高いレベルで競うことでよりいっそう高い技術の向上につながると思われるため廃止・休止すべきではない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 社会体育振興のための補助金であり、他のスポーツ補助金と統廃合・連携できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 本事業に関しては、県予選等を勝ち抜いて九州・全国大会へ出場権を獲得するチーム・個人がほとんどであり、その年で出場者数は異なるため事業費の削減は難しい。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 業務時間の削減等については毎年、九州・全国大会へ出場件数が違うため削減の余地のある・なしはつけられず、また、事務内容が補助金申請等の事務手続きのため委託等はできない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 県予選等を勝ち抜き、九州・全国大会等へ出場する個人・団体であれば誰でも対象となるため公平性は保たれている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	全国大会や九州大会へ出場は易しいことではなく、またスポーツの振興や競技力の向上に結びつき、霧島市を全国へ広めるためにも役立っている。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 現状維持でよいと思われる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 全国大会・県大会へ出場はスポーツ関係者のレベルアップに繋がるため、今後も事業を継続していきたい。